

1. 経済学科

経済学科には、「経済理論とデータ分析」「経済史」「地域経済」「日本経済」「グローバル経済」の5コースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

【卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)】

経済学部経済学科は、以下の能力を備えた人材を育成します。

A 知識・技能

- (DP-A1) 経済学の基本的分析ツールを理解し、使うことができる。
- (DP-A2) 日本経済の発展過程と現状を理解し、将来展望を簡潔に説明できる。
- (DP-A3) 地域や現場の視点から経済・社会問題を分析できる。

B 思考力・判断力・表現力

- (DP-B1) データの信頼性を的確に判断できる。
- (DP-B2) 信頼できるデータに基づき論理的に意見を表現できる。
- (DP-B3) 経済学の専門的用語を用いて的確に表現できる。

C 主体性を保持しつつ多様な人々と協働して学ぶ態度

- (DP-C1) 課題に正面から向き合い、その解決に主体的に取り組むことができる。
- (DP-C2) 他者と協調・協働して問題解決を図ることができる。
- (DP-C3) 多様な価値観を理解し主体的に協調することができる。

経済学部経済学科は、國學院大學経済学部の卒業認定・学位授与方針を踏まえ、上記の能力・態度を身につけるために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定するとともに、学士（経済学）の学位を授与します。

【教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)】

経済学部経済学科は、「卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)」に定める9の能力を身につけるために、下表に示された6つの科目区分および科目群から構成される教育課程を設けています。各科目群の教育目標に応じた重点箇所を、以下に◎および○で示します(◎：特に重点を置いている、○：重点を置いている)。

科目区分/ 科目群		卒業認定・学位授与方針 (DP)									各科目群の教育目標
		知識・技能			思考力・判断力・ 表現力			主体性を保持しつつ 多様な人々と協働し て学ぶ態度			
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	
学部 共通 科目	初年 次教 育	○	○			○	○	◎	○	○	経済学部の教育理念を体得し、学部での学修に必要な基礎的知識・技能・技法・態度を身につける。
	学部 コア 科目	◎	○		○	○	○	○			専門的教養に関する基礎的知識・理論・技法を学修し、学部での学修に必要な専門的基礎力を身につける。
	専門 英語 科目							○	○	◎	主体的かつ反復的な練習により、実践的なビジネス英会話力とビジネスプレゼンテーションスキルを身につける。

学科基礎 科目		◎	○	○	○		◎	○			経済学や日本経済に関する基礎的知識・理論・技法を学修し、現代社会の経済的事象を分析するためのフレームワークを身につける。
学科専門科目	I類	◎			○	○	◎	○			経済学に関する専門的知識・理論を修得し、現代社会の経済的課題の解明に向けた能力を涵養する。
	II類	◎		○	◎	◎		○			データ収集・分析手法に関する基礎的知識・技法を修得し、現代社会の経済的・経営的課題の解明に向けた能力を涵養する。
	III類	○	◎		○	○	◎	○		○	日本および西洋の経済史に関する専門的知識を修得し、現代社会の経済的課題の解明に向けた能力を涵養する。
	IV類	○	○	◎	○	○	○	○		○	地域や都市の経済および経済政策に関する専門的知識を修得し、地域と都市の経済的・社会的課題の解明に向けた能力を涵養する。
	V類	○	◎	○	○	○	○	○		○	日本の経済および経済政策に関する専門的知識・理論を修得し、現代日本の経済的課題の解明に向けた能力を涵養する。
	VI類	○	○	◎	○	○	○	○		○	世界の経済および経済政策に関する専門的知識・理論を修得し、グローバル経済の課題解明に向けた能力を涵養する。
学科応用科目	I類	○	◎	○	◎	○	○	○			経済学に関する応用的・発展的知識や調査手法を学修し、現代社会の経済的・社会的課題の解明に向けた能力を涵養する。
	II類				○	○	○	○			経営学に関する基礎的・応用的知識を学修し、現代社会の経済的・経営的課題の解明に向けた能力を涵養する。
	III類				○	○		○			会計学に関する基礎的・応用的知識を学修し、現代社会の経営的課題の解明に向けた能力を涵養する。
	IV類	○						○	○		様々な経済的・経営的事象に関心を持ち、現代社会の経済的・経営的課題を発見し、解明する能力を涵養する。
	V類				◎	○		○			情報学に関する応用的知識や技法を修得し、ICTを活用した現代社会のさまざまな課題解決に向けた実践的スキルを身につける。
専門演習 科目		○			○	◎	○	◎	○	○	個人的な研究関心に基づき、専門分野を主体的に学修するための知識・技能・技法・態度を身につける。
関連科目	I類	○					○	◎	◎	○	現代社会の経済的・経営的課題を主体的かつ協働的に解決するための実践的スキルを修得する。
	II類			◎				○		○	具体的でリアルな現場状況を知ることによって、職業人生を主体的に選択する態度を涵養する。
	III類							○		○	教育や教職に関連する科目を修得し、職業人生を主体的に選択する態度を涵養する。

【各コースについて】

経済理論とデータ分析コース

多様で複雑な経済事象。この難しい問題を解き明かすためには、問題に関する仮説を立て、それを現実のデータに当てはめて実証する必要があります。このコースでは、そうした仮説の立案や実証に不可欠の分析ツール（道具）である、経済理論とデータ分析の手法を習得し、さまざまな領域の課題の解明と解決を目指します。

経済史コース

歴史とは過去に起こったことを解釈することによって、未来を創ろうとすることです。このコースでは、世界の諸地域や日本の経済の歩みを学修することを通じて、現代における諸問題の本質を明らかにします。それによって、今後の日本経済のあり方を展望することを目指します。

地域経済コース

地域のグローバル化は同時にローカル化も進展させます。グローバルシティの台頭は、国民経済を超えて地域と地域が直接結びつくという現代的な地域の姿を端的に示しています。このコースでは、各地域の経済や地域間の結びつきの構造や実態を分析し、地域の魅力とはなんであるかを追究します。それによって、今後の地域経済のあるべき姿を発信、実践することを目指します。

日本経済コース

今ほど「日本を学び世界を知る」姿勢が問われている時代はありません。このコースでは、グローバル化の進展する日本経済が抱える問題を財政・金融・労働などの分野から整理し、多角的に分析します。それによって、日本経済の未来に向けた課題の解明と解決を目指します。

グローバル経済コース

国際経済の中では、さまざまな国や地域の経済が複雑に絡み合い、相互に影響を及ぼし合っています。このコースでは、国際経済に関する専門的な知識を学修し、グローバル化のもたらすメリット・デメリットを分析します。それによって、世界経済の中で日本が、さらに私たちの暮らす地域が果たすべき貢献とは何かを明確にすることを目指します。

【カリキュラムの構成と履修方法】

- 卒業論文を履修した学生は「演習Ⅲ（卒業論文）A・B」2科目4単位を必修とする。4年次前期の「演習Ⅲ（卒業論文）A」履修登録時に、教務委員・指導教員の了承を得ることにより、履修/非履修の変更ができる。それ以降の変更は、原則として認めない。
- 卒業論文の題目届は、第一次（3年次の「演習ⅡB」終了時）および第二次（4年次の「演習Ⅲ（卒業論文）A」終了時）の2回行う。題目の未提出者は卒業論文を提出することができない。また、第一次題目を登録しなかったものは、第二次題目を登録する資格を失う。
- 卒業論文を履修しない学生（専門演習をリタイアした学生も含む）は「卒業レポート演習」1科目2単位を必修とする。ただし、学科専門科目からさらに4科目8単位以上修得しなければならない。なお、学科基礎科目の超過分は2科目4単位まで算入可とする。

科目区分		卒業論文履修者			卒業論文非履修者		
		履修方法	単位数	備考	履修方法	単位数	備考
学部共通科目	初年次教育	必修	2科目4単位	*	必修	2科目4単位	*
	学部コア科目	選択必修	7科目14単位以上 ^{※1} ／10科目20単位	*	選択必修	7科目14単位以上 ^{※1} ／10科目20単位	*
		専門英語科目	選択必修	2科目4単位以上 ／4科目8単位	*	選択必修	2科目4単位以上 ／4科目8単位
学科基礎科目		選択必修	7科目14単位以上 ／12科目24単位	超過分は学科専門科目へ 2科目4単位まで算入可	選択必修	7科目14単位以上 ／12科目24単位	超過分は学科専門科目へ 2科目4単位まで算入可
学科専門科目（Ⅰ～Ⅵ類）		選択必修	5科目10単位以上 ／28科目56単位	★から3科目6単位および ☆から1科目2単位を含む	選択必修	9科目18単位以上 ／28科目56単位	★から3科目6単位および ☆から1科目2単位を含む
学科応用科目（Ⅰ～Ⅴ類）		選択必修	4科目8単位以上 ／23科目46単位	Ⅰ～Ⅴ類の1つの類から2科目4単位を含む	選択必修	4科目8単位以上 ／23科目46単位	Ⅰ～Ⅴ類の1つの類から2科目4単位を含む
専門演習科目		必修	2科目4単位 ^{※2} ／10科目20単位	演習Ⅲ（卒業論文）A・B	必修	1科目2単位 ／10科目20単位	卒業レポート演習
関連科目（Ⅰ～Ⅲ類）		*	* ／23科目46単位	*	*	* ／23科目46単位	*
合計			74単位以上			74単位以上	

※1 学部共通科目のうち「基礎演習B」は入学年度の後期のみ履修できる（次ページ以降のカリキュラム表参照）。この科目は学部必修科目に準ずる重要な科目であるため、履修を義務付けている。したがって、学生が履修登録をする必要はなく、すべての学生が履修登録されている。前期の「基礎演習A」の評価が「D」または「R」の場合は後期の「基礎演習B」を履修できないが、「基礎演習B」の登録は解除しない。そのため当該時限に他の科目を履修登録することはできないうえ、評価は「R」となるので、「基礎演習A」は極力修得すること。

※2 次ページ以降のカリキュラム表にある「演習Ⅰ」から「演習Ⅲ（卒業論文）A・B」までの専門演習科目は、2年次前期に実施する募集期間に「演習Ⅰ」（学士・編入生および演習Ⅰ非加入者の場合は「演習ⅡA」）に応募して合格した学生のみ受講できる。なお、合格した「演習Ⅰ」または「演習ⅡA」の担当教員が開講する科目しか受講できない。

※3 義務履修科目

1年次 「基礎演習B」「経済理論入門」「世界経済入門」「経済史入門」「統計入門」「経済経営数学入門」「経営入門」「会計入門」は、選択必修科目であり必修科目ではないが、原則として1年次に必ず履修しなくてはならない科目であり、クラス指定により開講時期・曜日・時限が指定される。

2年次 「財政の基礎」「金融の基礎」「現代日本経済」は、選択必修科目であり必修科目ではないが、原則として2年次に必ず履修しなくてはならない科目であり、クラス指定により開講時期・曜日・時限が指定される。

3年次 「キャリア開発」は、選択科目であり必修科目ではないが、原則として3年次に必ず履修しなくてはならない科目であり、クラス指定により開講時期・曜日・時限が指定される。

経済学科

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				コース					履修方法	履修制限/ 履修条件科目 ^{※1}		
				1	2	3	4	デ ジ タ リ 分 析 と 経 済 理 論	経 済 史	地 域 経 済	日 本 経 済	グ ロ ー バ ル 経 済				
学部共通科目	初年次教育	日本の経済	半期	2	○									2科目4単位必修	2年次以降履修不可/1年次クラス指定	
		基礎演習A	半期	2	○											2年次以降履修不可/1年次クラス指定
		基礎演習B	半期	2	○											1年次クラス指定/基礎演習A
	学部コア科目		経済理論入門	半期	2	○									7科目14単位以上 選択必修	1年次クラス指定
			世界経済入門	半期	2	○										1年次クラス指定
			経済史入門	半期	2	○										1年次クラス指定
			統計入門	半期	2	○										1年次クラス指定
			経済経営数学入門	半期	2	○										1年次クラス指定
			経営入門	半期	2	○										1年次クラス指定
			会計入門	半期	2	○										1年次クラス指定
			経済学史入門	半期	2		○									
	専門英語科目		社会科学入門	半期	2		○									
			Business Communication I	半期	2		○								2科目4単位以上 選択必修	
			Business Communication II	半期	2		○									
		Business Presentation I	半期	2		○										
	Business Presentation II	半期	2		○											
学科基礎科目		マクロ経済 I	半期	2		○								7科目14単位以上 選択必修 ※超過分は 学科専門科目へ 2科目4単位まで 算入可	経済理論入門	
		マクロ経済 II	半期	2		○									経済理論入門	
		ミクロ経済 I	半期	2		○									経済理論入門	
		ミクロ経済 II	半期	2		○									経済理論入門	
		ビジネスリサーチ	半期	2		○									経済経営数学入門	
		財政の基礎	半期	2		○									2年次クラス指定	
		金融の基礎	半期	2		○									2年次クラス指定	
		現代日本経済	半期	2		○									2年次クラス指定	
		国際経済	半期	2		○									世界経済入門	
		労働経済	半期	2		○									現代日本経済	
		社会経済学	半期	2		○										
		地域と都市の経済	半期	2		○										経済理論入門
学科専門科目	I類	ゲーム理論	半期	2			○			★	☆			卒業論文履修者は★を 付してある科目から3 科目6単位および☆を 付してある科目から1 科目2単位を含む計5科 目10単位以上選択必修 卒業論文非履修者 ^{※2} は ★を付してある科目か ら3科目6単位および☆ を付してある科目から 1科目2単位を含む計9 科目18単位以上選択必 修	経済理論入門	
		行動経済学	半期	2			○			★					経済理論入門	
		産業組織論	半期	2			○			★					経済理論入門	
	II類	データ分析の手法 I	半期	2		○				★	☆				統計入門	
		データ分析の手法 II	半期	2			○			★					統計入門	
		マーケティングリサーチ	半期	2			○			★					統計入門	
	III類	日本経済史 I	半期	2		○					★				経済史入門	
		日本経済史 II	半期	2			○				★				経済史入門	
		西洋経済史 I	半期	2		○					★				経済史入門	
		西洋経済史 II	半期	2			○				★				経済史入門	
		アジア経済史	半期	2			○				★				経済史入門	
	IV類	地域政策	半期	2		○					☆	★	☆		地域と都市の経済	
		都市経済	半期	2		○				☆		★	☆		地域と都市の経済	
		フィールドスタディ	半期	2		○					★	★	☆		4年次の履修不可/地域と都市の経済	
		地域と行財政	半期	2			○			☆	★	★	☆		財政の基礎	
		経済地理	半期	2			○				★		☆		地域と都市の経済	
		交通経済	半期	2			○				★		☆		地域と都市の経済	
		日本の金融システム	半期	2		○					☆	★			金融の基礎	
	V類	公共部門と財政	半期	2		○					☆	★			財政の基礎	
		日本経済と政策	半期	2			○			☆	☆	★			現代日本経済	
社会保障論		半期	2			○			☆	☆	★		現代日本経済			
社会政策論		半期	2			○			☆	☆	★		現代日本経済			
医療の経済		半期	2			○			☆	☆	★		経済理論入門			
VI類	国際経営	半期	2		○						☆	★	経営入門			
	外国経済	半期	2			○			☆		☆	★	世界経済入門			
	国際通貨と国際金融	半期	2			○					☆	★	金融の基礎			
	開発経済	半期	2			○			☆		☆	★	世界経済入門			
	環境経済	半期	2			○			☆		☆	★	経済理論入門			

(次ページに続く)

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				コース				履修方法	履修制限／履修条件科目※1		
				1	2	3	4	経済理論分析と デ ータ	経済史	地域経済	日本経済			グローバル経済	
学科応用科目	I類	ジェンダーと経済	半期	2			○								
		共生と経済	半期	2			○								
		地域ブランド論	半期	2			○								地域と都市の経済
		アンケート調査 I	半期	2		○									
		アンケート調査 II	半期	2			○								
	II類	経営戦略	半期	2			○								経営入門
		経営組織	半期	2			○								経営入門
		マーケティングの基礎	半期	2			○								経営入門
		経営史	半期	2			○								経営入門
		日本経営史	半期	2			○								経済史入門
	III類	簿記の基礎	半期	2		○									4科目8単位以上 選択必修
		財務会計	半期	2			○								※I～V類の1つの類 から2科目4単位を含む
		企業財務	半期	2			○								会計入門
		予算管理	半期	2			○								会計入門
		公会計	半期	2			○								会計入門
	IV類	経済学特論※3	半期	2		○									
		経営学特論※3	半期	2		○									
		経済学特殊講義※3	半期	2			○								
		経営学特殊講義※3	半期	2			○								
V類	情報システム	半期	2			○								コンピュータと情報 I	
	データ処理	半期	2			○								コンピュータと情報 I	
	データ管理	半期	2			○								コンピュータと情報 I	
	プログラミング	半期	2			○								コンピュータと情報 I	
専門演習科目	演習 I	半期	2		○									基礎演習B	
	演習 II A	半期	2			○								卒業論文履修者は 「演習 III (卒業論文) A・B」2科目4単位必修	
	演習 II B	半期	2			○								演習 I ※4	
	演習 III (卒業論文) A	半期	2				○							演習 II A	
	演習 III (卒業論文) B	半期	2				○							演習 II B	
	卒業レポート演習	半期	2				○							演習 III (卒業論文) A	
	経済特別演習	半期	2			○									
	経営特別演習	半期	2			○									
	サマーセミナー	集中	2		○									要卒業単位に含まない	
スプリングセミナー	集中	2		○									要卒業単位に含まない		
関連科目	I類	リーダーシップ基礎	半期	2	○										1年次のみ履修可／基礎演習A
		リーダーシップ応用	半期	2		○									2年次以降履修不可／リーダーシップ基礎
		政策デザイン	半期	2		○									4年次の履修不可／基礎演習B
		ビジネスゲーム	半期	2		○									3年次以降履修不可／経営入門、会計入門
		ビジネスデザイン	半期	2			○								4年次の履修不可／基礎演習B、経営入門
	II類	現代の企業経営	半期	2		○									4年次の履修不可
		雇用と働き方	半期	2			○								4年次の履修不可
		院友に学ぶキャリア	半期	2			○								4年次の履修不可
		ビジネスインターンシップ	半期	2			○								4年次の履修不可
		キャリア開発	半期	2			○								3年次クラス指定
	III類	日本史概論 I	半期	2	○										
		日本史概論 II	半期	2	○										
		東洋史概論 I	半期	2	○										
		東洋史概論 II	半期	2	○										
		西洋史概論 I	半期	2	○										
		西洋史概論 II	半期	2	○										
		憲法 I A	半期	2		○									
		憲法 I B	半期	2		○									
		政治学概論	半期	2	○										
国際政治A		半期	2		○										
国際政治B		半期	2		○										
社会学A		半期	2			○									
社会学B		半期	2			○									

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1 履修するにあたって、単位修得が条件となる科目のこと

※2 専門演習リタイア含む

※3 () 内のテーマが異なれば複数履修可

※4 学士・編入、4月募集は履修条件なし